

平成27年度 自己評価

4：十分達成できている 3：おおむね達成できている 2：やや不十分である 1：不十分である

内容	番号	観 点	評 価 (%)				4と3の数 (%)
			4	3	2	1	
本年度の具体的な取り組み等	1	校是「清新潑刺，質朴剛毅，堅忍不拔」の具現化に努め，挨拶・容儀・清掃の徹底及び耐性の指導に努めた。	22	76	2	0	98
	2	3年間を見通し，学年ごとに個に応じた進路指導を行い，難関大学にも合格できる指導ができた。	11	64	20	2	77
	3	地域に生徒の活動の姿が見える学校を目指すとともに子どもたちが「入りたい学校」の追求ができた。	25	65	9	0	91
	4	予習前提の授業を展開することで，主体的な自宅学習の定着を図り，生徒の学力を一層向上させることができた。	9	70	19	2	79
	5	小・中・高・大や地域との連携により学力向上の強化が図れた。	11	56	33	0	67
	6	研究授業や互観授業等により校内研修を深め，指導法の改善に努めた。	20	70	9	0	91
	7	報告・連絡・相談を確実にし，教育活動の改善に努めた。	36	56	5	2	93
	8	健康や規律の自己管理をしつつ，活力ある態度で一丸となって教育にあたった。	42	58	0	0	100
教務関係	9	授業の振替・補充を行うなど，授業時数の確保に努めるとともに，50分の授業をチャイムで始まりチャイムで終わらせ充実を図った。	57	42	2	0	98
	10	公開授業や中学訪問等をとおして地域や小中学校との連携を密にし，面談や学級通信等をとおして家庭との連携の強化を図った。	26	58	15	0	85
生徒関係指導	11	全職員の共通理解と生徒指導意識の高揚を図り，一つの指導方針のもとに一致協力して生徒指導・安全指導を徹底することができた。	31	67	2	0	98
	12	心の健康推進委員会やスクールカウンセラーと連携し，充実した教育相談を実施することができた。	22	65	13	0	87
進路関係指導	13	宅習時間が確保できるように具体的・効果的な指導・助言ができた。	22	63	15	0	85
	14	大学の学部・学科の内容及び入試問題について研修を深め，十分な進路指導ができた。	13	74	13	0	87
保健関係	15	学級担任・教科担任・養護教諭等との連携を強化し，生徒の心に届く適切な保健指導やヘルスカウンセリングに努めることができた。	25	74	2	0	98
	16	部活動への積極的な参加を促し，「文武両道」の精神を育て，部活動と勉強のけじめをつけさせることができた。	24	69	7	0	93
事務	17	生徒が学びやすいように，教室その他の施設設備の点検・整備が十分にできた。	28	66	7	0	93

努1 力学点年	18	高校生としての基本的な生活習慣を身につけさせることができた。	22	78	0	0	100
	19	自主的な学習態度を涵養し，基礎学力を充実させることができた。	17	83	0	0	100
努2 力学点年	20	中堅学年としての自覚を持たせ，学校行事・生徒会活動に積極的に参加する姿勢を養うことができた。	33	67	0	0	100
	21	自主的・積極的な学習態度を確立させ，基礎学力を発展・充実させることができた。	22	72	6	0	94
努3 力学点年	22	最高学年としての自覚を持ち，諸行事や諸活動の中心となって責任ある行動がとれるように指導できた。	28	67	6	0	94
	23	自主的・積極的な学習態度を確立させ，生徒の多様な進路希望実現に足る学力の伸長を図らせることができた。	28	56	17	0	83